

～10分類中6分類で全国平均を上回る～
小学校は回復傾向、算数Bに課題 中学校は昨年度の好結果を維持

1 調査実施校数及び児童生徒数（悉皆調査）、調査内容

- ◆福岡市全体
 - ・小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年 142校 約12,370人
 - ・中学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年 72校 約11,430人
 - 合計 約23,800人
 - ・特別支援学校で通常カリキュラムを履修している児童生徒は，状況に応じて個別に実施。
- ◆調査内容
 - ・小学校は，国語A，国語B，算数A，算数B，理科の5分類
 - ・中学校は，国語A，国語B，数学A，数学B，理科の5分類
 - ※ Aは主として「知識」に関する内容，Bは「活用」に関する内容

2 教科に関する調査の結果

(1) 調査結果の概況
◆小学校の結果

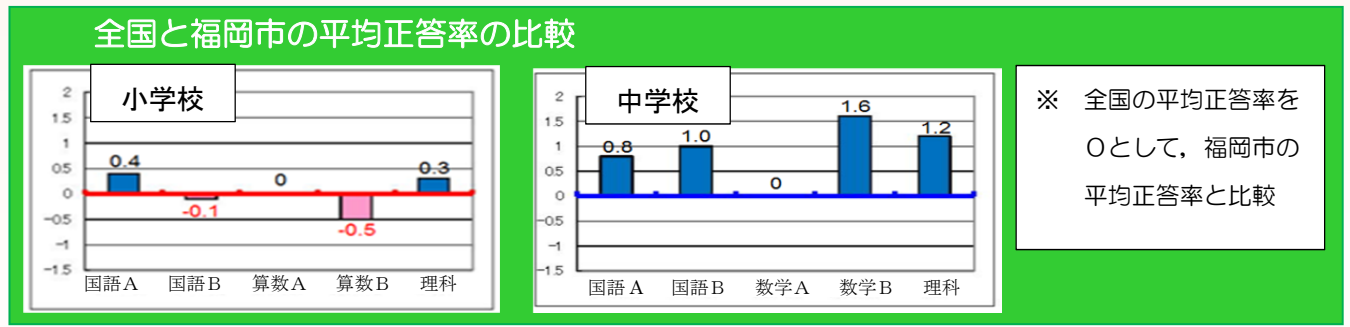
小学校調査		国語A	国語B	算数A	算数B	理科
福岡市(市立)	平均正答率	70.4	65.3	75.2	44.5	61.1
福岡県(公立)	平均正答率	69.8	65.1	74.7	44.2	59.5
全国(公立)	平均正答率	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
福岡県との比較		+0.6	+0.2	+0.5	+0.3	+0.6
全国との比較		+0.4	-0.1	0	-0.5	+0.3

・小学校の国語A，及び理科の2分類で全国平均を上回る。国語B，算数Aは昨年より全国平均との差が縮まっている。国語B，及び算数Bは，全国平均正答率を下回っている。

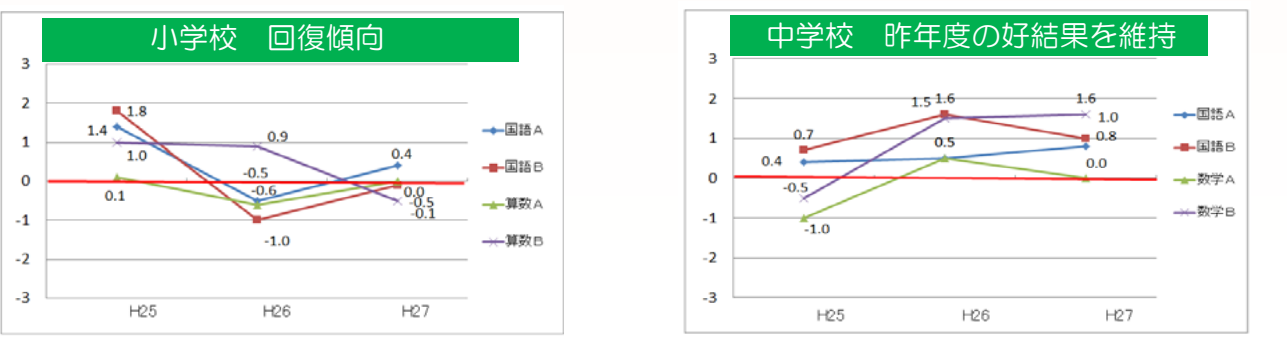
◆中学校の結果

中学校調査		国語A	国語B	数学A	数学B	理科
福岡市(市立)	平均正答率	76.6	66.8	64.4	43.2	54.2
福岡県(公立)	平均正答率	74.6	64.5	62.2	39.8	51.3
全国(公立)	平均正答率	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
福岡県との比較		+2.0	+2.3	+2.2	+3.4	+2.9
全国との比較		+0.8	+1.0	0	+1.6	+1.2

・中学校は，国語Aと国語B，数学B，理科の4分類で，全国平均正答率を上回る。

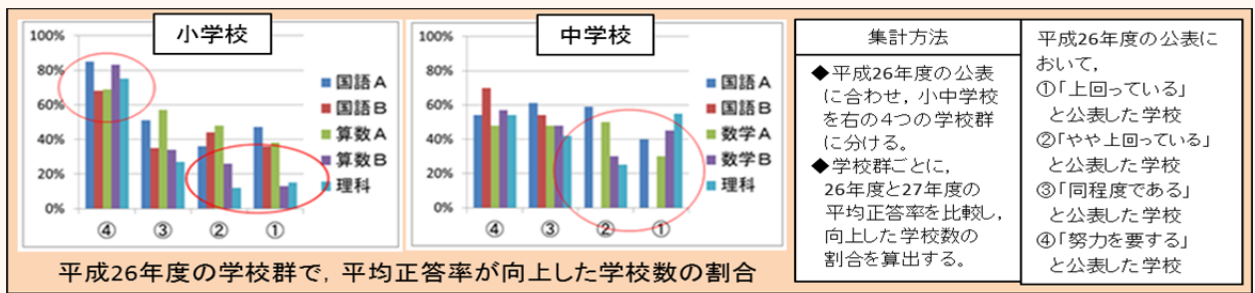


(2) 平成25年度から27年度までの全国平均正答率との差の推移



3 今後の課題

◆学校の課題に応じた取組の充実



・平成27年度に平均正答率が向上した学校の状態については，26年度に「③同程度である」や「④努力を要する」と公開した学校数の割合が高いのに対し，「①上回っている」や「②やや上回っている」と公表した学校数の割合は低い。各学校が自校の学力課題を確実に把握するとともに，課題に応じた取組を充実させていく必要がある。

◆「まとめ」と「ふりかえり」の徹底と「発展的な学習」の全校実施

児童生徒質問紙の結果	学校質問紙の結果
「授業の内容はよくわかる。」と回答した児童生徒が，中学校数学以外で全国平均を下回る。 (小学校算数) 78.5% (全国比 -2.5) (中学校理科) 66.6% (全国比 -0.2)	「前年度までに発展的な学習指導を行った。」と回答した学校の割合が，すべての教科で全国平均を下回る。 (小学校算数) 41.9% (全国比 -19.7) (中学校国語) 48.6% (全国比 -12.2)

・児童生徒質問紙の結果から，「授業の内容はよくわかる」と回答した児童生徒の割合が，中学校数学以外で，すべての分類で全国平均を下回った。授業の終末段階における「まとめ」と「ふりかえり」をより一層徹底する必要がある。

・学校質問紙の結果から，発展的な学習指導が十分に行われていないことが明らかになった。補充的な学習とともに，児童生徒の力をさらに伸ばす発展的な学習を全ての学校で実施させる必要がある。

◆算数・数学の指導の強化

教科における観点ごとの調査結果から

小学校算数B 全ての観点において，平均正答率を下回る。	
小学校算数A「数量や図形についての技能」	平均正答率 76.9(全国比 -0.3)
中学校数学A「数量や図形についての知識・技能」	平均正答率 63.5(全国比 -0.4)

・小学校算数は，B「活用」だけでなく，A「知識」にも課題があり，中学校数学Aにおいても関連する観点で全国平均正答率を下回る状況が生じている。小学校低・中学年の早い段階から，基礎・基本の定着を図る指導をより一層強化する必要がある。

4 取組の方向性

(1) 各学校での取組

- ◆児童生徒一人一人の課題に応じたきめ細かな指導の徹底
 - ・『授業改善の3つのポイント』を再確認し，徹底を図る。
 - ポイント①…「教えること」と「学ばせること」を区別する。
 - ポイント②…学習過程の要所で「考えを書くこと」を大切にする。
 - ポイント③…学習したことの「まとめ」と「ふりかえり」を徹底する。
 - ・教育課程の見直しにより生み出す約30時間を中心に，補充的な学習や発展的な学習の充実を図る。

(2) 教育委員会の取組

- ◆「学力分析シート」を活用した学校訪問等における指導主事の指導の充実
- ◆学力向上のための教育課程の見直しと連携した学力向上の取組の推進
 - ・すでに整備している「指導資料」に，より効果的な教材を加え，提供する。
 - ・補充的な学習や発展的な学習の具体的な指導についての事例紹介を行う。